

Create New Stage

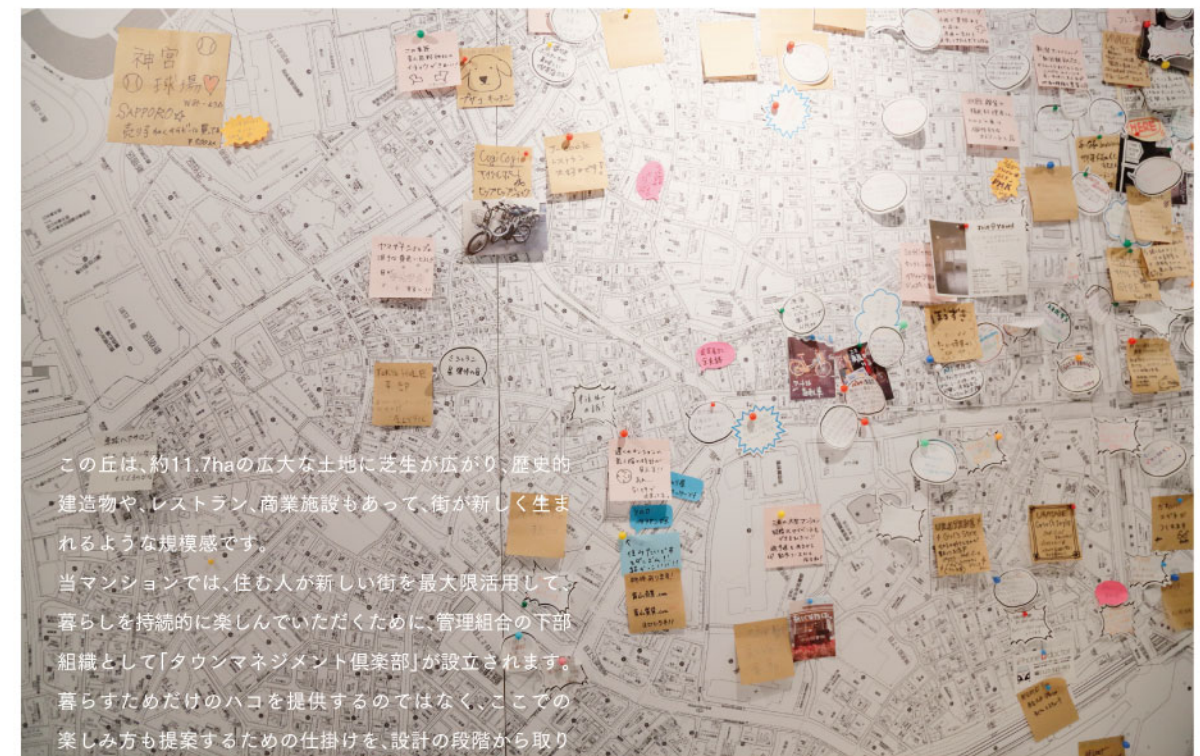
新しく生まれるこの街は、住む人がいつも輝いてほしい。



Shiftalk_3 Tomomi Kurihara

都内有数の人気スポットを創りあげてきた、街づくりの仕掛け人。
タウンマネジメントという新たな街づくり手法を用いて
Brillia City横浜磯子のソフトサービスを提供する。

栗原知己 有限会社クオル代表取締役 タウンデザイナー(一級建築士)
森ビル株式会社に籍時に、六本木ヒルズやお台場のヴィーナスフォートなど大規模商業施設の企画開発・運営を担当。その経験を活かして、街づくり専門コンサルティング会社「QUOL」を設立。都心の商業施設や地方の商店街など多岐にわたり活動している。Brillia City 横浜磯子のタウンマネジメント組成コンサルティングと運営業務を担う。



この丘は、約11.7haの広大な土地に芝生が広がり、歴史的建造物や、レストラン、商業施設もあって、街が新しく生まれるような規模感です。
当マンションでは、住む人が新しい街を最大限活用して、暮らしを持続的に楽しんでいただくために、管理組合の下部組織として「タウンマネジメント倶楽部」が設立されます。
暮らすためだけのハコを提供するのではなく、ここでの楽しみ方も提案するための仕掛けを、設計の段階から取り入れておく。それが他のマンションとの大きな違いです。

例えば、貴賓館の横にはイベントが可能なオープンスペースを設ける。多目的スペースではフィットネスやコンサートを、芝生広場はヨガイベントに活用するなど、この広大な敷地を使って何ができるのかを常に考え、取り入れています。

中でも大きなものの一つとしてはマルシェがあります。三浦半島の新鮮な野菜や魚介類を集めた市場は、住人だけでなく地域の方々にも開放します。新鮮な食材たちは、毎日の食卓をより豊かにしてくれるでしょう。

そして、何よりここで暮らす人々には、いつも何かに夢中になって輝いてほしい。広大な敷地を使ってランニング講座を開き、湘南国際マラソン出場なんて目標を持ってもいい。カルチャースクールに参加して、教養を高めつつ住民同士の交流を深めるなど、住人の方の意見を取り入れながら、地域の皆さんの自己実現をバックアップできるようなイベントやソフトサービスをどんどんカスタマイズしていき、この街を永く輝かせていきたいと思っています。



栗原氏が東京・表参道で運営する街づくりをコンセプトとした「TOWN DESIGN CAFE」にて撮影。ここには街の情報発信や人の交流をつくる様々な仕掛けが盛り込まれている。